

## 令和7年度 障害者支援施設めいわ地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和8年1月18日(日) 10時45分～12時
開催場所	社会福祉法人愛光 本館1階 応接室
出席者	利用者2名、利用者家族1名、行政(佐倉市障害福祉課)2名、地域の関係者(福祉に知見のある方)1名、職員2名:片野明美(管理者)、日野史生(課長)
欠席者	なし
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管理者挨拶</li> <li>2. 出席者自己紹介</li> <li>3. めいわ概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画</li> <li>・年間予定</li> </ul> </li> <li>4. めいわでの生活について <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の流れ</li> <li>・当事者から</li> <li>・家族の立場から</li> <li>・職員から</li> </ul> </li> <li>5. 意見交換</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・地域連携推進会議(概要)</li> <li>・令和7年度 事業計画</li> <li>・めいわ1日の流れ(過ごし方)</li> </ul>
施設訪問日時	令和8年1月18日(日) 10時～10時45分

### ◎管理者より事業運営・事業計画 概要および一日の流れについて説明

#### ○スローガン「ライフ・ワーク・バランス～安心で楽しい生活と魅力ある活動を～」

現在平均年齢58.6歳。50代以上の方が3/4を占め高齢化が進んでいる状況であり通院回数も増えている。日常の健康管理と余暇支援、活動の充実を図ることで生き甲斐や生活のはりにつなげ心身ともに健やかな生活を目指している。

#### ○中期経営計画・サービス内容

・定員;入所56名、短期入所4名でおおむね満床。日中一時支援利用も増加傾向。

盲重複障害の方が8割。知的障害中重度の方が主であるため、移動の際は職員が付添い誘導。めいわ内の慣れた空間であれば単独で移動できる方も多いが利用者同士の接触を避けるため、職員が見守りを行っている。

・人材育成;職員研修の実施。障害特性に関わるものから虐待防止、BCP対策、感染症対策等業務上必要な課題等に関する内容。

・利用者支援;平日は年齢やニーズに応じ4つの班(農耕・受注・創作手工芸・いろどり班)に

分かれ活動。高齢化により、生産活動を卒業した方たちの健康管理・余暇的支援を目的としたいんどり班のニーズ増。

週末や長期休み期間にはカラオケや映画鑑賞会等ミニイベントを企画。誕生日月の個別外出を実施。

- ・健康管理；内科・歯科・精神科・泌尿器科は往診体制あり。皮膚科・耳鼻科・整形外科等外部受診も増加。自ら訴えることのできない方も多いため看護師と連携し日常の健康観察を行っている。
- ・安心・安全な環境整備；見守り用のカメラを設置。てんかん発作時の様子、事故発生時の原因追及と対策検討等に活用。
- ・災害時・感染症対策；BCPに基づく訓練や研修の実施。

### ○一日の流れ

6:00～ 起床 / 7:30～ 朝食 / 9:30～ 活動 / 11:30～ 昼食  
13:00～ 活動 / 14:30～ 入浴(週3回) / 17:30～ 夕食・就寝準備  
19:00～ 就寝 / 20:00～ お茶会(希望者) / 22:00 消灯

※上記は基本的な流れであり、個別状況に応じ都度対応

### ◎めいわでの生活について

ご利用者・ご家族より

利用者 A 様

めいわの生活は楽しい。職員Oさんが夜勤の時に 21 時から YouTube を見えています。沖縄公式チャンネルも好き。太鼓班に参加していて、愛光創立 70 周年記念式典で演奏しました。幕張(視覚障害者福祉協会全国大会)にも演奏に行きました。

利用者 B 様

余暇時間に YouTube を見えています。鉄道にはまっていて路線の動画をよく見えています。駅メロとか走行音を聞くのが楽しい。京葉線の音が大好きですが、今日の午後は JR 中央総武線各駅を見ます。Kさんやほかの仲間5人で太鼓班に参加しています。一番感動したのは幕張の大会です。皆さん喜んでくれました。

職員

太鼓班は、盲学校時代からスタートし、現在クラブ活動として継続。地域のイベントや高齢者施設に招かれ演奏するなど、地域の方たちと交流する機会が多く、10月の法人秋祭りでは、地域の太鼓クラブとのコラボ演奏も予定していましたが、感染症対応のため残念ながら参加できませんでした。

家族

10月にコロナが発生したが短期間で収束し、みんな元気に回復した。全員に広がることなく対処してもらえて家族は安心している。生活面でも一人一人に適したことを考え行っている。息子は高校卒業後に入所。同室者や他の人達と仲良くテレビを見たり歌ったり楽しそうに生活していてうれしい。以前骨折したこともあったが、職員の支援もあり、元気に

回復している。年齢によるものか、3か月毎で帰省していても、以前と比べ最近では自宅内で壁にぶつかってしまう。めいわ内では問題なく動けていて 安心している。

### ◎推進委員(行政・地域関係者)より施設訪問時の感想

- ・建物は古くなってきているが、職員さんが色々配慮していると感じた。利用者が高齢化する中でどうしたらよりよく暮らしていけるか考えてくださっていて安心。利用者の皆さんもよい表情をされていた。
- ・ご利用者の個性を見て手助けされている様子に感動した。どうしたらご利用者が快適に過ごせるかを考えている取組みは素晴らしいと感じた。身内の視覚障害の方を3年程預かったことがある。地域にこのような事業所があることは心強い。
- ・本館エントランスを愛光ギャラリーとして地域の方(写真サークル、書道等々)にも開放し展示している取組みは素晴らしい。

### ◎意見交換

#### (意見・質問)

『夜勤など少ない人数での対応や利用者の移動など支援の上での配慮は？』

- ➔盲重複障害(視覚障害と知的障害の重複)の方が主体。特に自身で移動する方たちについては、位置関係を覚える際に混乱することもあり、積極的には居室変更しないようにしている。

視覚障害のない方も増えているので、安全のため見守りの必要が増えてきている。特に職員室前は多くの利用者が集まるため、接触による転倒骨折が危惧される。

無届外出のケースで近隣のコンビニに一人で行ってしまうこともあり、つど対応・謝罪しているが、幸い店長さんや店員さんのご理解をいただけている。

『地域全体での見守りが出来るといいと思う。以前郵便局に職員と一緒に切手を買いに来る方に会ったことがあるが、施設の方達が地域に出ることはとても大事なこと。』

- ➔平成6年の移転当初は地域の方も戸惑いや距離感もあったが、現在は自然と挨拶をしてくれるようになった。太鼓班の演奏だけではなく、地域のイベントや販売会などへの参加もよい経験。今年度から、南図書館で月1回の販売会も開催させていただき地域の方と直接関わる機会が増えており、館長さんにも大変感謝している。

『ご家族の面会などはどうされているのか？』

- ➔2か月に1度家族会を開催し多くの家族が参加される。ルミエール・リホープを含めた3施設の家族会主催で、本日午後 ACP 会議(人生会議)の研修を行う。ご家族も高齢化が進み終末期の対応(緊急時の救命・延命への意向)などへの関心は高まっている様子。

『地域移行にかかる意思決定支援について、利用者ご本人への意思確認は難しいでしょうか？』

- ➔利用者に分かりやすく質問して思いを引き出すこと、伝え方、聞き方が難しい。

お話しできない方の場合や、家族と本人の意見が割れた場合など・・・地域に出たい、自宅に戻りたいという方もいると思うが、家族はこのままめいわでの生活継続を希望するなど悩ましいケースもある。年度内に意向確認の会議を行う予定。

『地域移行の希望があるケースや悩ましいケースについては相談支援専門員と相談し計画を立案してもらい、施設、本人、家族、相談員(第三者)交えて相談していくと良いのではないか。』

➡ 施設として、日常を見ている中で感じる現実、利用者の限界を決めつけてしまっている側面もある。第三者、多職種も交えて相談していく体制が整えられればと思う。

#### (地域連携推進会議への意見、感想等)

・イメージとして入りにくい側面があったが、施設の中を見ることができてよかった。地域の方と利用者と職員も交流できる空間があるといいかなと感じた。勉強になった。

・自治会の役員などの参加により、めいわを知ってもらう機会になるのではないか。今後の会議の際検討してみてもどうか。

・施設・職員皆さんは利用者や家族の為に頑張っていると感じる。「施設として、どう関わってほしいのか」地域に対して、もっとアピールしてはどうか。

・家族としても、地域の方に来てもらえたらいいと思う。移転当時には反対もあったとも聞いているが、長年積み重ねてきたこともある。秋祭りだけでなく、他にもいろいろな機会を考えてはどうか。

(閉会)